

より近く より深く より前へ

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2016
August

No. 173

8



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 8

JA群馬担い手サポートセンター

- JA生産販売計画の実践支援
- 営農指導機能強化支援
- 農業経営管理支援
- 法人等担い手支援
- 出向く営農支援体制の強化と活動支援
- JA-TACの人材育成
- JAの野菜振興取組支援
- 農産物の安全・安心対策

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進

米麦特産課

- こんにゃく推進セット夏期特別推進
推進目標 22,000ケース
(平成28年7月1日～8月31日)
- こんにゃく荒粉・精粉出荷販売推進(入札の実施)
- こんにゃく生玉予約取扱推進

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計にがうり販売 (9月末日迄)
- 共計オクラ販売 (9月末日迄)
- 共計みょうが販売 (9月末日迄)
- 共計県統一規格露地なす販売 (11月末日迄)

販売促進課

- 夏秋野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- ネポン暖房機第2期推進(第2期・7～9月)
- 青果物予冷库推進(パナソニック)
- 秋用出荷資材予約推進
- 低コスト段ボール
(AKライナー・ノンステーブル段ボール)の推進
- 秋まき用種子推進(ほうれん草・ねぎ・きゅうり他)
- 種馬铃薯予約注文取りまとめ(8月中)

生産資材部

○売出し・フェアの実施

☆花木流通センター

- 8月11日(木)～15日(月) お盆セール
- 8月26日(金)～29日(月) 秋の園芸準備フェア
- 8月3日・10日・17日・24・31日

水曜お米特売日

☆愛菜館

- 8月11日(木)～15日(月) お盆セール
- 8月3日・10日・17日・24・31日

水曜お肉特売日

- 8月8日(月)・18(木)・28(日) 8の日お米特売

○造園工事推進

肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 麦肥料推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- 麦種子消毒剤及び除草剤推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 高崎ハムお中元ギフト・関連商品推進 (6月～8月)

葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進 (周年)
- 生花利用拡大運動 (周年)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

石油課

- 平成28年度ホームタンク特別推進 (8月～2月)
- JA-SS夏のキャンペーン (7月～8月)

ガス課

- 平成28年度ガス器具特別推進
- ふれあい訪問活動推進
- 大型給湯器特別推進



ＪＡ北群渋川デイサービスセンター「げんき」開所式
(7.1 デイサービスセンター「げんき」)

■地域福祉に貢献 「げんき」がオープン

7月1日(金)、ＪＡ北群渋川デイサービスセンター「げんき」が開所し、当県本部を含む関係者によるテープカットが行われました。ＪＡ北群渋川管内で2か所目の通所介護施設となる「げんき」では、理学療法士によるリハビリ指導で、一人一人に合ったサービスを提供します。また、喫茶室や多目的室は地域の方にも開放し、憩いの場として利用が期待されています。挨拶に立った保科組合長は、「利用者、地域の皆さんに喜ばれる施設にしたい。」と期待を込めて話しました。

■実践研修でスキルアップを図る

7月12日(火)、葬祭総合課はＪＡアシストホールまえばしにおいて、「平成28年度 受付・渉外研修会」を開催しました。研修では、全農生活リテール部くらしの支援事業課の常田氏を講師に迎え、葬祭業務における心構えやマナー等についての講義が行われました。その後、遺族との打ち合わせの場面を想定したロールプレイングも行われ、参加者は日々の業務に活かすため、真剣に取り組んでいました。



平成28年度 受付・渉外研修会
(7.12 ＪＡアシストホールまえばし)



平成28年度米麦の病虫害・雑草防除講習会【初級向け】
(7.27 ＪＡビル)

■病虫害・雑草への対策を学ぶ

7月27日(水)、ＪＡ群馬担い手サポートセンター主催の「平成28年度米麦の病虫害・雑草防除講習会」が開催され、県内9ＪＡの担当者約20名が参加しました。講習会では、群馬県農政部技術支援課普及指導室の山本氏により、水稻・麦類の病虫害と雑草について診断ポイントや対策の講義が行われたほか、肥料農薬課より推奨肥料・農薬の使用における注意事項等が説明されました。また、当日は米の食味試験として3品種の試食も行われ、香りや粘りといった食味の違いを確認しました。

最新農機が一堂に集結!! アグリマシフェア2016

～ 7.16・17 総合センター内特設会場 ～

今年も「魅力とやりがいのある群馬の農業生産振興を目指して」をテーマに、県内JA・JA全農ぐんま共催、群馬県系統農機メーカー連絡協議会後援の「アグリマシフェア2016(第40回農業機械大展示即売会)」が盛大に開催されました。



◀ 開会式でのテープカット



◀ 各ブースでのデモンストレーションの様子

賑わう会場内 ▶



会場にはトラクターやコンバインといった最新鋭の大型農機から家庭菜園で使える管理機まで所狭しと並べられ、各メーカーとも趣向を凝らした展示や実演で最新技術や新機能をPRしました。来場者は、担当者の説明を聞いたり試乗するなどして使い方を確かめていました。2日間で昨年を上回る約5,400人の方にご来場いただきました。

熱心に説明を聞く来場者 ▶



低塩タイプ ※1

群馬県産オリジナル

トマトジュース

パスタやスープ、リゾットなどのお料理の材料としても便利です。

群馬県産完熟トマトを旬にしぼったストレートのトマトジュースです。

限定製造

1ケース・30缶入
(190g×6本×5)



お問合せ・ご注文先

ご注文は、お近くのJA またはJA全農ぐんまへ
JA全農ぐんま 米麦特産課

Tel 027-220-2271

※1.「低塩」は、厚生労働省・栄養表示基準により、ナトリウムが120mg/100ml以下と定義されています。(本品は83mg/100ml)

※この夏に収穫された、完熟トマトを使用しています。トマトの生育・収穫状況によっては納品時期が遅れる可能性がございますので、なにとぞご理解のほどお願い致します。

群馬の夏野菜が大集合！ JAまるしえで消費拡大イベントを開催

～ 7.20 大手町JAビル ～

7月20日(水)、当県本部は大手町JAビルの農業・農村ギャラリー(愛称：ミノール)において、「グッドぐんまの農畜産物フェア」を開催しました。イベントでは、旬のキャベツやトマト、枝豆といった夏野菜や上州牛を始めとするお肉、トマトジュースやこんにゃくなどの加工品を販売し、来場者に魅力をアピールしました。プラムやブルーベリーといった果



▲ 新鮮野菜が並ぶ売り場

会場を盛り上げてくれた
ぐんまちゃん



▲ 来場者に県産の果実をPR

実や加工品は試食提供も行い、来場者からは「新鮮でおいしい」「甘さがさっぱりしている」などの声があがり好評でした。また、県産農畜産物を使った「上州和牛ステーキ弁当」と「上州麦豚焼肉弁当」もそれぞれ限定30食と20食で販売し、買い求める人で長蛇の列ができる人気ぶりでした。用意した約30品目の食材はほぼ完売し、群馬県産農畜産物のPRに手応えを感じた1日となりました。



孺恋高原キャベツ

最盛期に向け消費地でPR!!



夏秋キャベツの生産量で全国一位を誇るJA孺恋村では、8月2日の「孺恋高原キャベツの日」に伴った消費宣伝活動を展開。8～9月の最盛期に向けて、当県本部と共に各地でPR活動を行いました。
○7月11日(月)、JA孺恋村の松本組合長をはじめとするJA関係者が大澤県知事を表敬訪問しました。県知事へ新鮮な孺恋高原キャベツを贈呈すると共に、

作柄報告や意見交換が行われました。

○6月25日(土)～8月2日(火)、東京・大阪・福岡・名古屋の量販店約20店舗でフェアを開催しました。店頭で試食販売を行い、消費者に向けて孺恋高原キャベツの魅力をPRしました。また、期間中は各地のテレビ・ラジオ番組にも8本ほど出演し、知名度向上を図りました。



▲ 県知事へキャベツ贈呈



▲ 福岡市内の量販店でPR



▲ 日本放送での即売会



イベント盛りだくさん 花木センターで「夏の大売り出し」を開催!!



花木流通センターでは、7月29日(金)～8月1日(月)までの4日間、旬の野菜や観葉植物、除草剤などの商品をお買い得価格で提供する「恒例! 夏の大売り出し」が開催されました。期間中はスタンプラリーや手作り講習会など子供から大人まで楽しめる様々なイベントも開催され、夏休みを楽しむ多くの家族連れで賑わいました。

7/29(金)～8/1(月)

スタンプラリー



▲スタンプラリーカード

来店ごとに1つスタンプを発行。4日間毎日来店した方には、お米・レトルトカレー・野菜セットがプレゼントされました。

また、クイズに答えながら各売り場を巡り、スタンプを集めるスタンプラリーも開催。親子でスタンプを集める姿が見られました。



各売り場に設置された
スタンプ置き場



7/29(金)

精粉を使った手作りこんにゃく体験



◀こんにゃくの精粉からビニール袋を使って手軽に作る方法が紹介されました。

7/30(土)・31(日)

流しそうめん



◀夏の風物詩流しそうめん。涼やかな雰囲気夏の暑さを吹き飛ばします。

7/30(土)

お箸作り



かわいいお箸が
できたよ♪

▲好きな絵を書いたり紙を貼ったりし、オリジナルのMY箸を作りました。



7/31(日)

多肉植物寄せ植え講習会



▲人気の多肉植物を寄せ植えし、おしゃれな作品に仕上げました。

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

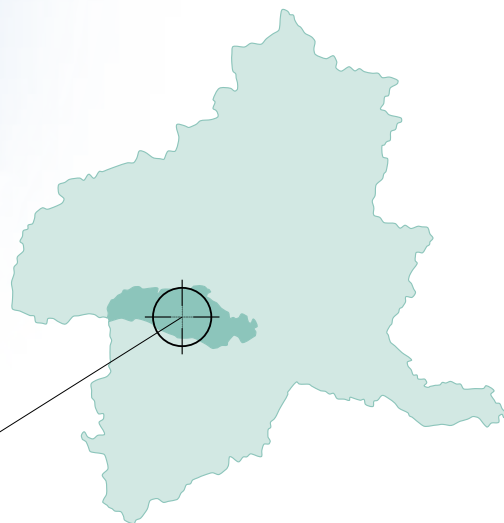
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
いのちをいただき、未来につなげる / 全国食肉学校	8月29日(月)	PM 9:00～9:30
	※9月4日(日)	AM 8:00～8:30



山部 朱里アナ

農業 チャレンジャー

JAはぐくみ



榛名の果実を全国に広めたい

JAはぐくみ管内 富沢 貴洋 さん



富沢 貴洋

(とみざわ・たかひろ) さん

1973年生まれ、42歳。

JAはぐくみ里東果実部

JAはぐくみはるなプラム部

はるなフルーツタイムスの会に
所属。

2児の父。

趣味：ドライフルーツ作り

栽培面積：梨…………… 1.2ha

梅…………… 1ha

プラム…………… 60a

桃…………… 10a

サラリーマン時代を経て就農

今回のチャレンジャーは、JAはぐくみ管内で果樹の生産をする富沢さんです。もともと東京でシステムエンジニアとして勤務していた富沢さん。就農のきっかけを伺うと、「不規則な勤務時間で働くうちに、群馬の緑が恋しくなりました。自然の中で決まった時間に仕事ができることが魅力で、4年半のサラリーマン生活を終え、実家の果樹農家を継ぐことを決めました。」と話してくれました。「就農当初は本当に大変でしたが、慣れてくるにつれて3年目、5年目、10年目とその時々で異なる面白さを感じるようになったんです。農業は決して飽きることがありません。」と富沢さん。現在就農14年目。作業内容の単純化を図り、家族一丸となって効率的な栽培に励んでいます。

直売所からおいしさをお届け

富沢さんの営むカネカ果樹園では、直売も行っているため、早朝の収穫作業を終えると朝9時からお店での販売を開始します。今(7月)は桃・プラム・ブルーベリーの収穫期。みずみずしい果物が店頭並びます。「お店では、完熟状態の果物を扱っているため、お客さんにはそ

の場で試食してもらうことでおいしさを知ってもらっています。気温や降雨量など、天候が出来に大きな影響を与えるのが果樹の難しい所ですが、直接『おいしい』という声が聞けると何よりも励みになりますね。」と富沢さん。直売所は7月半ばから10月末までの収穫期、休まず営業しています。

活発な情報発信で知名度向上

榛名地区の果樹を全国に宣伝したいとの思いから、地域の果樹農家と協力して、ホームページやブログ、SNSを活用したPR活動も積極的に行っています。中でも、地元の果樹農家7軒で結成された「はるなフルーツタイムスの会」では、イメージキャラクターとして、「フルーツ忍者ハルナ」を誕生させたり、各果樹園や榛名地区の観光名所を巡るスタンプラリーを開催したりし、テレビや新聞でも度々取り上げられ知名度を上げてきました。「榛名のフルーツをより多くの人に知ってもらうため、これからも新たなことにどんどん挑戦していきたいです。」と意気込む富沢さん。こだわりの果樹栽培と個性溢れるPRに意欲的に取り組む姿に、今後ますますの活躍が期待されます。



- 1 「自分が食べて納得がいく物を提供しているの、味には自信があります。」と富沢さん。
- 2 プラム「貴陽」。糖度が高く、酸味とのバランスも絶妙な品種です。
- 3 7月下旬から収穫を迎える梨「新水」。
- 4 富沢さんたち果樹農家が協力して生み出した「フルーツ忍者ハルナ」のキャラクター「梨之助」。FM高崎にてラジオドラマ化も決定しています。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA佐波伊勢崎

大山 祥平さん

Profile

おおやま・しょうへい (30歳)

趣味 サッカー

好きな食べ物 チャーハン

好きなアーティスト ケツメイシ

●職場の皆さんからみた大山さん

「真面目でいつも一生懸命に仕事をしています。誰とでも仲良くできる明るい性格をTAC活動に活かし、これからも活躍して欲しいです。」

「TACは、組合員の一番身近な相談役です。」

——大山さんの所属するTAC推進室について教えてください。

今年の4月に開設したばかりの新しい部署です。30代を中心とした5名の職員が、TACとして地域農業の担い手に出向く業務を行っています。

——お仕事内容を教えてください。

組合員の方々を訪問して意見・要望を伺い、営農や経営に役立つ様々な情報をお届けしています。例えば、新しい農業の紹介や作物の病虫害対策についての指導などです。また、営農についてのみならず、金融やその他組合員がお困りのことには何でもできる限り対応しています。

——担当品目は何ですか？

ごぼうやほうれん草、枝豆といった露地野菜です。

——1日に何軒くらい訪問するのですか？

だいたい5軒から10軒くらいです。

——仕事をする上で心がけていることは何ですか？

組合員さんと会話するときは、自分のおじいちゃんおばあちゃんと話すような感覚で、堅苦しくならないように気を付けています。あとは、常に新しい情報を持って訪問することを心がけています。

——どんな時にやりがいを感じますか？

やはり組合員の皆さんの力になれた時です。先日も貯金についてのご相談に対応した際、「何でも言える担当がいて良かった。」と言っていただけました。何かあればぜひ気軽にTACに相談して欲しいですね。

——趣味は何ですか？

サッカーです。子供の頃からやっていて、今でも休日に地元の仲間たちとプレーしています。

——チャーハンが大好きとのことですが。

はい。中でも一番のお気に入り、友人が経営している居酒屋の卵チャーハンです。

——では、最後に今後の意気込みをお聞かせください。

TAC活動は奥が深く、まだ試行錯誤の毎日ですが、最終目標である組合員の所得向上を目指して、日々最善を尽くしていきたいと思っています。今後も農業や金融について知識を増やし、皆さんから頼りにされる職員となれるよう頑張ります！

——大山さん、これからも組合員の皆さんのために頑張ってください。ありがとうございました。



▲枝豆の出来について組合員と話し合う大山さん。

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は7月25日に6月の牛乳乳製品統計を公表した。6月生乳生産量は62万6,316tで前年に比べ0.3%増加した。

北海道は33万6,839t(前年同月比2.5%増)で生産量の全国シェアは53.8%となった。

都府県の生産量は28万9,477tとなり、前年同月比で2.2%減少した。

■販売及び乳製品情勢

4月の用途別処理量は、牛乳等向けが35万0,374t(前年同月比0.4%増)、乳製品向けが27万1,712t(〃0.3%増)となった。飲用牛乳等生産量は30万2,571kl(〃0.3%減)で前月から1.6ポイント減少し、うち牛乳が26万6,395kl(〃0.4%増)であった。

また、乳飲料は10万8,482kl(〃6.2%減)で前月から1.2ポイント増加した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生乳生産量	全 国	630,407	653,358	626,316			
	群馬(委託実績)	18,310	18,703	17,604			
	本会(委託実績)	5,911	5,883	5,426			
用途別処理量	飲用牛乳等向け	323,332	350,076	350,374			
	乳製品向け	302,614	298,934	271,712			
	その他向け	4,461	4,348	4,230			
前年対比	生乳生産量(全国)	100.9	100.7	100.3			
	〃(群馬)	98.8	98.3	98.6			
	〃(本会)	99.3	96.2	94.9			
	飲用牛乳等向け	100.3	100.8	100.4			
	乳製品向け	101.6	100.7	100.3			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
							1,910,081
							54,617
							17,220
							1,023,782
							873,260
							13,039
							100.6
							98.5
							96.8
							100.5
							100.8

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(8月予想)：牛肉相場は強含み。月遅れ盆需要が高まり堅調。

肉牛枝肉相場(予想)

・和牛去勢A5	2,850円中心	・和牛去勢A3	2,400円中心	・交雑去勢B3	1,700円中心
・和牛去勢A4	2,600円中心	・和牛去勢A2	2,200円中心	・交雑去勢B2	1,550円中心
		・交雑去勢B5	2,000円中心	・乳牛去勢B2	1,050円中心
		・交雑去勢B4	1,850円中心		

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
和牛去勢A4	27年-28年	2,283	2,349	2,252	2,255	2,349	2,395	2,455	2,539	2,754	2,645	2,640	2,462
	28年-29年	2,734	2,733	2,653	2,631								2,688
	前年格差	451	384	401	376								226
和牛去勢A3	27年-28年	2,098	2,132	2,080	2,085	2,106	2,133	2,228	2,349	2,485	2,464	2,384	2,246
	28年-29年	2,514	2,525	2,393	2,356								2,447
	前年格差	416	393	313	271								201
交雑去勢B3	27年-28年	1,654	1,693	1,672	1,703	1,707	1,717	1,746	1,751	1,789	1,723	1,675	1,711
	28年-29年	1,742	1,719	1,710	1,755								1,732
	前年格差	88	26	38	52								21

群馬県食肉卸売市場上場頭数・全国と畜頭数

(単位：頭)

年・月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
27年-28年		1,085	946	907	1,151	871	1,004	1,084	1,390	1,321	966	1,009	1,091	12,825
28年-29年		1,109	778	745	903									3,535
前年格差		24	▲ 168	▲ 162	▲ 248									▲ 9,290
全国 と畜 頭数	26年-27年	99,464	91,001	90,327	102,267	88,474	95,800	105,092	110,615	109,345	85,310	85,824	92,201	1,155,720
	27年-28年	95,755	83,324	89,621	98,748	84,388	88,223	95,304	106,249	102,271	79,030	82,811	85,067	1,090,791
	28年-29年	87,263	81,394	83,538										252,195
	前年比	91.1	97.7	93.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1

■素牛動向

①和牛子牛	(去勢) 852千円平均(前月比100%)	(雌) 736千円平均(前月比99%)
②F1価格	(去勢) 452千円平均(前月比101%)	(雌) 361千円平均(前月比100%)
③乳牛素牛	(去勢) 226千円平均(前月比97%)	

8月道産肉用乳素牛取引基準価格：760円/kg(前月価格の20円下げ)

養豚情勢

枝肉相場関係

8月の豚肉相場は下げる。月遅れ盆の手当て買いが増えるが、供給増により需給が緩む。

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
26年-27年(A)		553	582	621	580	548	548	517	569	609	547	588	565	569
27年-28年(B)		569	535	565	613	615	530	471	481	531	472	525	490	533
28年-29年(C)		492	560	603	557									553
(B-A)		16	▲47	▲56	33									▲36
(C-B)		▲77	25	38	▲56									20

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間頭数
と畜	27-28年	41,752	37,407	39,299	40,863	35,998	42,383	45,504	42,052	43,542	40,885	40,178	42,107	491,970
頭数	28-29年	40,481	35,948	37,630	35,502									149,561
前年比(%)		97.0	96.1	95.8	86.9									30.4

肉豚生産出荷予測（全国） ※6月まで実績／7月以降の出荷予測は

5月23日付農水省畜産部食肉鶏卵課発表による

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	10月~12月	1月	2月	3月	1月~3月	4月	5月	6月	4月~6月	7月	8月	9月	7月~9月
全国出荷予測頭数(千頭)		4,337	1,349	1,361	1,445	4,155	1,354	1,312	1,305	3,971	1,247	1,326	1,363	3,936
前年同月比(%)		104	100	106	106	104	99	105	101	102	94	110	102	102

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、8月の出荷見込頭数は1,326千頭（前年同月比110%）となっている。その後は9月1,362千頭（〃102%）と予想されている。

鶏卵相場関係

鶏卵情勢

■Mサイズ基準値

平成28年8月180円（見込み） 82%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
27年-28年(A)		227	230	223	213	219	247	250	252	255	182	209	215	227
28年-29年(B)		215	204	197	184									200
(B-A)		▲12	▲26	▲26	▲29									▲27
全国基金	27-28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.005	0	0	
補填	28-29年	0	0	0	6.093									

■価格動向：7月の平均単価は184円（前年同月▲29円）となった。

■出荷動向：生産量は前月並みとなる見通し。

■需要動向：月遅れ盆需要で鈍っていた荷動きが回復する。

卵価要因

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
加工卵輸入	26-27年	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974	2,273	1,877	2,192	2,090	2,542	2,231	26,713
実績(t)	27-28年	2,449	1,888	2,307	1,979	1,803	1,794	2,574	2,196	2,476	2,352	2,086	2,042	25,946
前年比(%)		107.1	81.6	96.4	81.5	84.4	90.9	113.2	117.0	113.0	112.5	82.1	91.5	97.1
餌付羽数	27-28年	7,872	8,422	8,640	8,375	7,263	8,244	8,418	7,716	8,547	7,765	8,075	8,711	98,048
(千羽)	28-29年	8,217	8,805	8,777										25,799
前年比(%)		104.4	104.5	101.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3

■価格の推移

- (1) 20年度：193円 (3) 22年度：194円 (5) 24年度：181円 (7) 26年度：216円
 (2) 21年度：175円 (4) 23年度：188円 (6) 25年度：207円

単味飼料・原料情勢

平成28年8月群馬県本部
畜産農産部 酪農畜産課

■原料情勢

①とうもろこし(シカゴ定期)

7月12日発表の米国農務省需給見通しでは、米国とうもろこしの2015/16年産について、供給量は15,392百万ブッシェルで、前月発表から据置で見通された。需要面では飼料用需要と工業・種子需要がそれぞれ50百万ブッシェルおよび18百万ブッシェル下方修正されたものの、輸出需要が75百万ブッシェル上方修正され、全体では13,692百万ブッシェル(前月発表13,685百万ブッシェル)と上方修正された。

2016/17年産については、作付面積は94.1百万エーカー(前月発表93.6百万エーカー)と上方修正され、単収は前月発表と同様に168ブッシェル/エーカーと据置で見通された。一方の需要面についてはブラジルの高湿乾燥によるクロップ減少の影響を受け、南米産に向けられていた需要が米国産に集まり、輸出用途が2,050百万ブッシェル(前月発表1,950百万ブッシェル)と上方修正された。

シカゴ定期は、6月半ばにかけて米国産の輸出成約高が好調を保っていたことに加えて、米国中西部に高湿乾燥の予報が発表されたことから堅調に推移した。しかし、中旬以降に発表された米国中西部の降雨予報を受けて作柄悪化に対する懸念が後退し、相場は軟調に推移した。今後本格的な受粉期へと突入するため、市場関係者は産地の天気に敏感になっており、直近では日々発表される天気予報の影響を受けて、相場は揉み合いながら推移している。

②大豆粕

7月12日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の2015/16年産について、供給量は輸入量が5百万ブッシェル減少した

ことから、4,145百万ブッシェルとなった。需要量は7月の好調な輸出成約が反映され、輸出需要が35百万ブッシェル増加し、3,794百万ブッシェルとなった。期末在庫は先月から20百万ブッシェル減少し、350百万ブッシェルとなり、在庫率も先月の9.79%から減少し、9.23%となった。

米国大豆の2016/17年産について、供給量は収穫面積の増加見通しから80百万ブッシェル上方修正され、4,260百万ブッシェルとなる見通し。収穫面積は6月30日発表の作付意向調査に基づき、過去最高の83.0百万エーカーとなった。需要量は供給量の増加に伴い、搾油需要が10百万ブッシェル、輸出需要が20百万ブッシェル上方修正され、3,970百万ブッシェルと見通された。期末在庫は前月発表から30百万ブッシェル上方修正されて290百万ブッシェルとなり、在庫率も前月発表の6.60%から7.30%へと上方修正された。

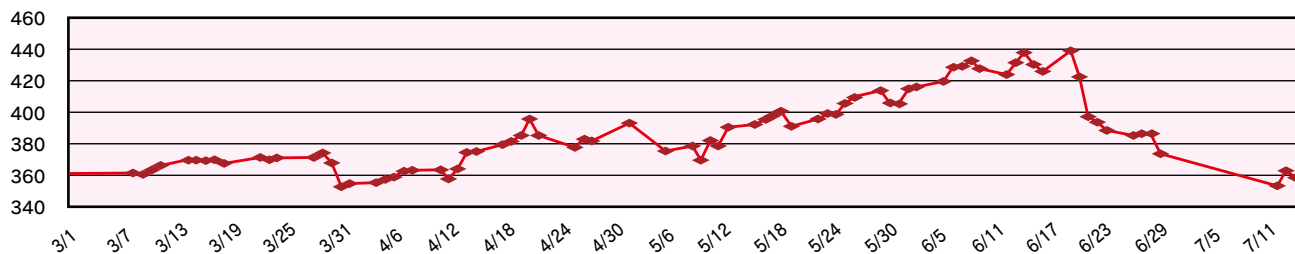
大豆粕のシカゴ定期は、生育期を迎えた北米の天候、投機筋のポジション動向、および中国を中心とした消費国の需要動向に影響されながら推移すると見込まれ、現在8月限370ドル/ST前半で推移している。

■海上運賃

直近の米国ガルフ～日本間のパナマックス型運賃は堅調に推移している。理由としては、堅調な中国向け石炭輸送需要やインド向け石油コークス輸送需要が挙げられる。今後は需要悪化を懸念した売りが目立つことで下落した原油相場、世界の鉄の約半分を生産している中国の粗鋼生産量の動向、それに伴う鉄鉱石や石炭の輸送需要の影響を受けながら、海上運賃相場は推移すると思われる。

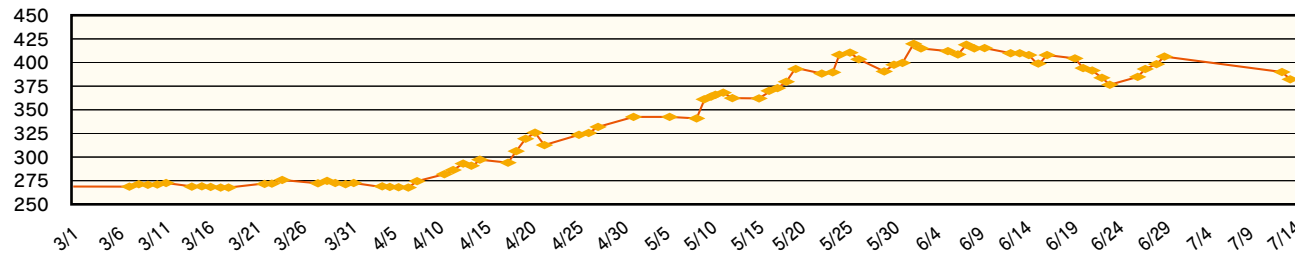
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



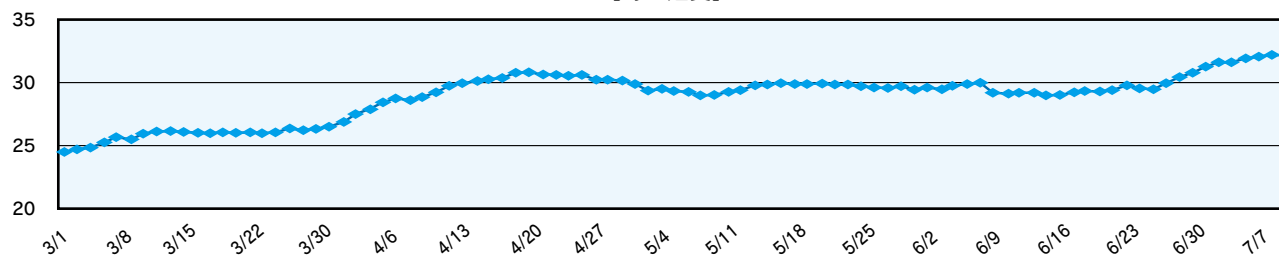
ドル/米トン

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



花木流通センターでは、8月より秋野菜苗・種子の販売を開始しております。秋野菜苗は、ブロッコリー・キャベツ・白菜等、生産者が手塩にかけて育てた人気品種を取り揃えており、品質は抜群です。秋まき種子は、大根・たまねぎ等定番品種から変り種まで多数入荷しております。種まき資材も豊富にございますので、この機会にご家庭で野菜作りを始めてみてはいかがでしょうか？皆様のご来店を心よりお待ちしております。

9月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内 容
8月27日(土) 10:00~ ・9月3日(土) 10:00~	秋野菜定植講習会 (大根は種含む) 【参加費無料・申込み不要】
9月10日(土) 10:00~ ・9月11日(日) 10:00~	ほうれん草栽培講習会 【参加費無料・申込み不要】
9月16日(金) ~19日(月)	秋の大園芸祭り

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。



花と緑あふれる広場
KABOKU
花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00~18:00

(節電のため7月~2月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

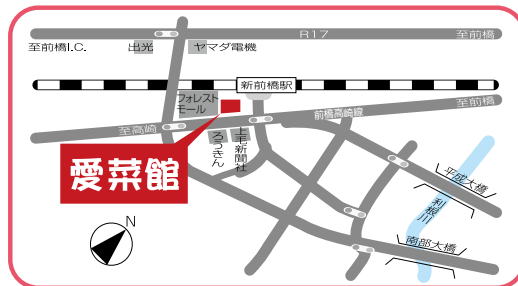
前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

やさいひろば
JA直販 愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00~18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



群馬県産
トマトジュース使用



ポークと豆のトマトジュース煮

材 料

2人分

(1人分322cal)

オリーブオイル …… 大さじ 1
赤玉ねぎ(みじん切り)
…………… 小1/2個
にんにく(みじん切り)
…………… 1 かけ
豚肉(カレー用) …… 160g
トマト …… 200g

A { トマトジュース缶 …… 2 缶
赤ワイン …… 大さじ 2
コンソメ …… 1 個
ひよこ豆(水煮) …… 200g
レンズ豆(水煮) …… 140g
塩 …… 小さじ 1/3
コショウ …… 適量
バジル(飾り用) …… 適量

作り方

- 1 鍋にオリーブオイルを入れ火にかけ、赤玉ねぎ・にんにくを焦がさないように炒める。
- 2 豚肉は1cm角に切り、塩・コショウをふる。
- 3 トマトは湯剥きし、ざく切りにする。
- 4 1の鍋に肉を加え炒め、色が変わったら3のトマトとAを加える。そこにひよこ豆とレンズ豆を入れ、塩・コショウをする。
- 5 弱火で煮込み味を調える。パスタやパン、ご飯にかけて食べる。